



社会医療法人 天神会

社会医療法人天神会 リハビリテーション課
医療法人幸伸会 みやき統合医療クリニック通所リハビリテーション

大川 卓也

1. 法人紹介

社会医療法人天神会は、福岡県久留米市を拠点に、福岡県小郡市および佐賀県みやき町にも展開しており、グループ全体で3病院・6クリニック・看護学校・複数の介護施設を運営しています。急性期医療から生活期の介護まで幅広く対応し、「人々の豊かな生涯を支援する医療・介護の実現」を目指して日々取り組んでいます。

外来透析は1976年に開始し、現在は4つの医療機関で実施、透析患者数は約380名にのぼります。

2. 透析患者に対する運動療法



当法人では、2002年より動作能力が低下した透析患者を対象に、透析室のベッドサイドで運動療法を開始しました。2007年からはCPX(心肺運動負荷試験)に基づく個別の運動処方も導入しています。一時期は、透析前にリハビリ室やフィットネススペースを利用した運動も行っていましたが、現在は透析中の運動療法に一本化しています。

腎臓リハビリテーションは、医師・看護師・臨床工学技士・理学療法士など多職種による「腎リハチーム」が連携して実施。腎リハガイドラインに準拠し、

CPXが可能な施設では安全かつ効果的な負荷設定を行っています。透析中の運動療法は主に心疾患リハチームが担当し、回復期リハビリ病棟においても、整形外科手術後の透析患者に対して積極的にリハビリテーションを行っています。

3. 介護施設との連携

運動療法を必要とする透析患者の多くが介護保険サービスを利用しており、当法人の介護施設(入所・通所・訪問)を幅広く活用しています。通所リハには、腎リハ経験のあるスタッフをジョブローテーションで配置し、透析患者への安全かつ効果的な運動提供を目指しています。また、入退院時には院内イントラネットを活用して情報を共有し、切れ目のないリハビリの継続に努めています。

今後は、透析施設単体ではなく、介護施設との連携を強化することで、より質の高い腎臓リハビリテーションの提供が可能になると考えています。

2026年3月には、福岡県久留米市で第16回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会(会長:久留米大学深水教授)が開催されます。皆さまとお会いできることを楽しみにしております。



社会医療法人 天神会

〒830-8577

福岡県久留米市天神町120

URL: tenjinkai.or.jp